

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第7区分
 【発行日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【公開番号】特開2014-129157(P2014-129157A)
 【公開日】平成26年7月10日(2014.7.10)
 【年通号数】公開・登録公報2014-037
 【出願番号】特願2012-287141(P2012-287141)
 【国際特許分類】

B 6 5 H 7/14 (2006.01)

B 4 1 J 11/42 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 7/14

B 4 1 J 11/42

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1回転体と前記第1回転体に対して接離方向に移動可能に設けられている第2回転体とでシートを搬送する搬送手段と、

前記第2回転体に伴って前記接離方向に移動可能に設けられ、前記第2回転体の回転量を計測する回転量計測手段と、

前記回転量計測手段による計測結果に基づいて前記シートの搬送距離を算出する搬送距離算出手段と、

を有することを特徴とするシート搬送装置。

【請求項2】

前記第1回転体を支持するフレームの外側に設けられ、前記第2回転体の回転軸を前記接離方向に移動可能に支持する支持部材を有し、

前記回転量計測手段は、前記第2回転体の回転軸に設けられて一定間隔でスリットが刻まれているホイール及び前記スリットを検出するセンサを有し、前記フレームと前記支持部材との間に設けられている

ことを特徴とする請求項1に記載のシート搬送装置。

【請求項3】

前記支持部材は、前記フレームに段付ネジで組み付けられていることを特徴とする請求項2に記載のシート搬送装置。

【請求項4】

前記支持部材と前記フレームとの間の間隔が、0.1mm以上且つ3mm以下であることを特徴とする請求項3に記載のシート搬送装置。

【請求項5】

前記段付ネジは、少なくとも前記支持部材に接触する部分が樹脂部材に覆われていることを特徴とする請求項3又は4に記載のシート搬送装置。

【請求項6】

前記支持部材を前記接離方向に対して略直交する方向に押圧する押圧手段を有することを特徴とする請求項2から5の何れか一項に記載のシート搬送装置。

【請求項 7】

前記搬送手段の前記シートの搬送方向下流側で前記シートを検知する下流側検知手段と

、

前記搬送手段の前記シートの搬送方向上流側で前記シートを検知する上流側検知手段と

を有し、

前記搬送距離算出手段は、前記下流側検知手段が前記シートを検知してから、前記上流側検知手段が前記シートを検知するまでの間に、前記回転量計測手段によって計測される前記第 2 回転体の回転量に基づいて、前記シートの搬送距離を算出することを特徴とする請求項 1 から 6 の何れか一項に記載のシート搬送装置。

【請求項 8】

前記搬送距離算出手段は、算出した前記シートの搬送距離に前記シートの搬送経路における前記下流側検知手段と前記上流側検知手段との間の距離を加算して、前記シートの搬送方向の長さを算出する

ことを特徴とする請求項 7 に記載のシート搬送装置。

【請求項 9】

前記第 1 回転体は、回転駆動する駆動ローラであり、

前記第 2 回転体は、前記駆動ローラ又は前記シートに従動して回転する従動ローラであることを特徴とする請求項 1 から 8 の何れか一項に記載のシート搬送装置。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 の何れか一項に記載のシート搬送装置を有することを特徴とする画像形成装置。